

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

大阪市立海老江東小

学校

児童数

46

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	17.20	21.00	30.65	41.30	54.95	9.45	144.00	26.85	53.47
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	16.88	20.77	34.92	41.85	43.27	9.40	146.50	13.81	56.96
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

結果の概要

本校は、男子は8種目中6種目で全国平均と大阪市平均を上回っている。体力合計点でも全国平均や大阪市平均を上回っている。課題は、長座体前屈、立ち幅跳びである。女子は8種目中7種目で全国平均と大阪市平均を上回り、体力合計点でも全国平均や大阪市平均を上回っている。課題は、立ち幅跳びがあげられる。昨年度に比べ特に女子の改善が目立っている。男子はソフトボール投げ、女子は上体起こしでのがんばりが顕著である。新校舎建設も3年目を迎え、7m×30mの運動場と体育館での運動遊びをする子どもたちの頑張りが際立っている。

質問紙調査では「運動やスポーツをすることは好きですか」は、女子では全国平均に比べて非常に高く。「中学校に進んだら授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたい」と思う児童が男女とも全国平均を大きく上回っている。「朝食を毎日食べますか?」では、男女肯定的な割合が100%で全国平均を上回っている。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

運動時間の確保やそれぞれの運動の特性（良さや楽しさ）に触れる体育授業の改善に努めてきた。ふだんの授業は運動する時間を極力確保することや体育指導に関する情報を共有してきた。

冬の持久走やなわとびの体力づくりの週間やシナプソロジー（運動と脳を関連付けながら活性化運動）の導入も積極的に行った。

トップアスリート事業、夢授業など大阪市や大阪府の体力向上事業を活用しオリンピック、プロスポーツ選手、コーチ、体操のオリンピックメダリスト招へいも積極的に行い授業を実施した。5階建ての新校舎建設も3年目に入り、運動場が7m×30mの狭さで体育館との併用になっている。水泳運動の期間を長めにしたり、夏季休業中のプール開放を行ったりした。1日に2度ある15分休憩を運動場と体育館で学年で割り当てや低学年の近隣の公園で遊びも実施した。外部団体からの助成金などで、狭い場所でも運動できる器具用具を購入し、活用している。